

**平成28年度進行管理・評価シート**  
**津山市歴史的風致維持向上計画（平成21年7月22日認定）**  
（最終変更平成28年3月25日）

**進捗評価シート(様式1)**

組織体制(様式1-1)	
1 計画実施のための組織体制による検討	1
2 津山市歴史的風致維持向上計画協議会の開催	2
重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 景観計画の策定・屋外広告物の規制	3
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 史跡津山城跡保存整備事業	4
2 苅田家住宅及び酒造場修理事業	5
3 京橋門跡地整備事業	6
4 旧妹尾銀行林田支店修理活用事業	7
5 津山だんじりの保存・継承事業	8
6 出雲街道(城東地区) 無電柱化事業	9
7 城東地区 道路空間高質化事業	10
文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の調査・指定	11
2 文化財の保存修理・防災・周辺環境	12
3 文化財の施設・普及啓発	13
効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 津山城"堀"めぐり 市民団体初企画 等	14
その他(効果等)(様式1-6)	
1 まちづくりに関する取り組み	15

**総括評価シート【方針の達成状況等】(様式2)**

計画に記載している方針(様式2-1)	.....
--------------------	-------

**総括評価シート【代表的な事業の質の評価】(様式3)**

歴史的風致維持向上施設の整備・管理(様式3-1)	.....
--------------------------	-------

<b>法定協議会等におけるコメントシート(様式4)</b>	..... 17
-------------------------------	----------

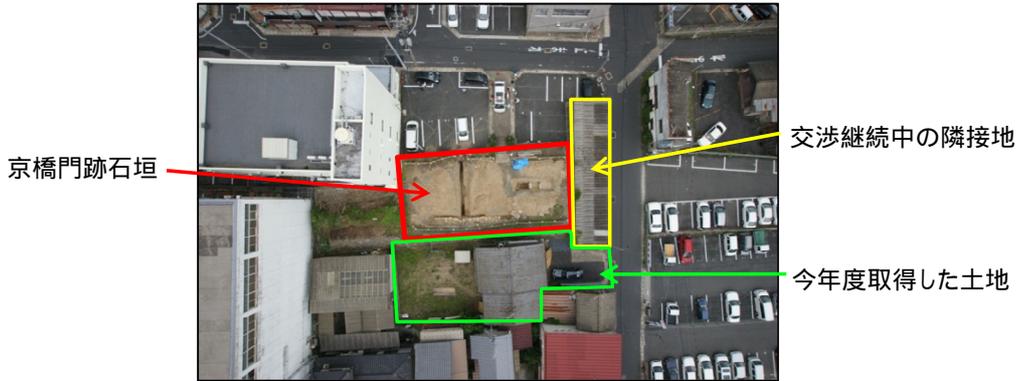
		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
計画実施のための組織体制による検討		実施済 実施中 未着手	
計画に記載している内容	計画策定体制として、各事業担当部局及び調査部門が連携する庁内の横断的な組織(計画策定チーム)を形成。計画の実施・推進については、計画策定チームが中心となり、計画の追加、修正等の際には、協議会の意見を求めながら実施。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
本計画の上位計画である市の第5次総合計画実施にあたり、関係部局との協議を随時実施した。また、前年度から継続して実施している個別事業については、事業担当課と随時協議を実施し事業の推進にあたった。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		多くの意見を踏まえたうえで調整を行うことが必要なため、事業に対する外部意見等の情報収集に努める。	
状況を示す写真や資料等			
平成28年度実施状況 定例の事業調整会議のほか、個別事業について関係部署と随時協議し計画の推進にあたった。			
<pre> graph TD     subgraph Tsuyama_City [【津山市庁内組織】]         subgraph Planning_Team [（計画策定チーム）]             P1[政策調整室]             P2[観光振興課]             P3[都市計画課]             P4[歴史まちづくり推進室]             P5[公園緑地課]             P6[文化課]         end         subgraph Policy_Conference [（政策会議）]             C1[副市長]             C2[特別理事]             C3[教育長]             C4[各部長]         end         subgraph Committees [津山市都市計画審議会 津山市文化財保護委員会 津山市景観整備委員会]         end         Planning_Team &lt;--&gt; Policy_Conference         Policy_Conference &lt;--&gt; Committees     end      Citizens[市民] -- パブリックコメント --&gt; Planning_Team     Citizens &lt;--&gt;  協議  Historical_Association[津山市歴史的風致維持向上計画協議会]     Planning_Team --&gt; Historical_Association     Historical_Association --&gt; Planning_Team      Planning_Team --&gt; Planning[歴史的風致維持向上計画の策定]     Planning -- 申請 --&gt; National_Gov[国土交通省・文部科学省・農林水産省]     National_Gov -- 認定 --&gt; Planning     </pre> <p>【計画の実施体制】</p>			

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
津山市歴史的風致維持向上計画協議会の開催		実施済 実施中 未着手	
計画に記載している内容	庁内組織での検討内容結果等は、学識経験者、有識者、岡山県、岡山県教育委員会、市及び市教育委員会で構成される協議会に諮り協議。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
計画の実施状況等に関する意見を求めるため、津山市歴史的風致維持向上計画協議会を開催した。今年度は協議会を1回開催。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		多くの意見を踏まえたとえでの計画の管理・調整を行うことが必要なため、事業に対する外部意見の収集に努め、収集方法等の検討を行っていく。	
状況を示す写真や資料等			
<p>平成28年度実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>津山市歴史的風致維持向上計画協議会</li> <li>【日 時】 平成29年3月6日(月) 10:30～</li> <li>【場 所】 津山市役所 401会議室</li> <li>【出席者】 山陽学園大学教授、城東地区代表、城西地区代表、岡山県土木部都市局都市計画課長、津山市都市建設部企画調整官、津山市教育委員会生涯学習部文化課長、津山市都市建設部都市計画課長、津山市都市建設部公園緑地課長、事務局(歴史まちづくり推進室)</li> <li>【協議事項】 <ul style="list-style-type: none"> <li>津山市歴史的風致維持向上計画事業の進行管理・評価について</li> <li>津山市歴史的風致維持向上計画の変更について</li> </ul> </li> </ul>			
			
【会議の様子】			

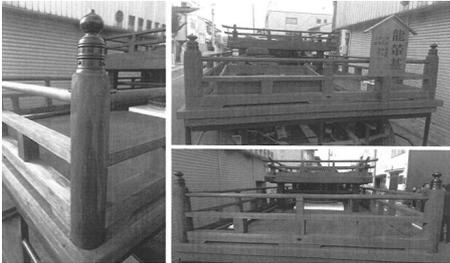
		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
景観計画の策定 屋外広告物の規制		実施済 実施中 未着手	
計画に記載している内容	景観計画の策定にあたっては、市全域を景観法に基づく景観計画区域とするとともに、特に良好な景観を形成する必要がある区域を景観計画重点区域とする。また、歴史的風致維持向上計画の重点区域を景観計画重点区域とする。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
津山市景観計画を施行し、計画に基づく指導を開始した。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>景観計画策定事業 【実施状況】 平成28年4月1日 津山市景観計画 施行 平成28年度 届出件数 全68件 (うち景観形成重点地区20件)</p> <p>屋外広告物の規制 岡山県景観条例の許可対象以外の屋外広告物については、津山市景観計画における基準で指導を実施中。</p>			

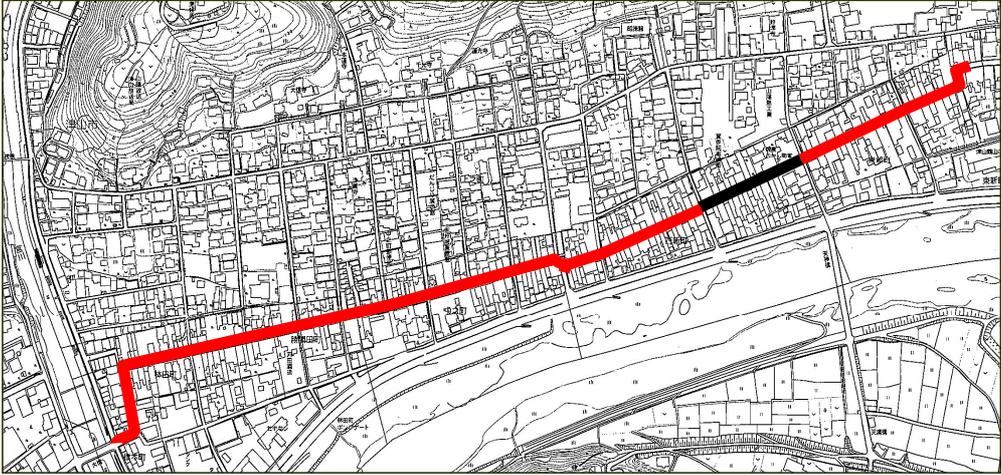
		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
史跡津山城跡保存整備事業		実施済 実施中 未着手	
事業期間	平成10～29年度		
支援事業名	歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業		
計画に記載している内容	津山城跡(鶴山公園)は、「津山城跡周辺地区」の核となる建造物であるため、一層の保存と活用を進めるために「史跡津山城跡保存整備計画」を策定して事業を実施。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
史跡津山城跡保存整備事業により、平成28年度は裏鉄門周辺整備を行った。 この整備により、歴史遺産の保存、観光・地域の交流拠点としての活用をさらに拡大させていくための基盤整備を推進することができた。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>史跡津山城跡保存整備事業 【平成28年度実施状況】 裏鉄門周辺整備工事</p> <p>【平成28年度実施内容】 津山城の搦手側通路は、石段の石が抜けたり、ずれが生じるなど、安全な通行が難しくなっていたことから、平成26年度から整備工事をおこなっている。 今年度は、本丸と二の丸の間に位置する裏鉄門の遺構表示や排水路の整備、腰巻櫓石垣の遺構表示、本丸と埋門の間の石段復旧をおこない、往時の景観を復元するとともに来城者が安全に通行できるように整備した。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>【施工箇所】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【施工前】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【施工後】</p> </div> </div>			

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
苅田家住宅及び酒造場修理事業		実施済 実施中 未着手	
事業期間	平成25年～30年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	城東地区の出雲街道沿いにある苅田家住宅及び酒造場は、「城東重要伝統的建造物群保存地区」の核となる建造物であるため、解体修理等を実施。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
「旧苅田家住宅(10棟)」が平成28年7月25日付で国の重要文化財に指定された。 今後の修理に向けて関係課と調整会議及び協議を随時行った。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		国の重要文化財指定を受け、今後の修理実施のスケジュールを見直すため、事業期間を延長して実施にあたる予定。	
状況を示す写真や資料等			
苅田家住宅及び酒造場修理事業 【平成28年度実施状況】 ・国の重要文化財指定 平成28年5月20日開催の文化審議会にて国重要文化財に指定するよう答申され、7月25日付で「旧苅田家住宅10棟(主屋、三階蔵、米蔵、前蔵、西蔵、大蔵、醤油蔵、新蔵、巽門及び浴室、裏門)」が、「城下町で酒造業により発展を遂げた上質な住宅と醸造施設」として重要文化財に指定された。 ・苅田家住宅及び酒造場修理事業調整会議 【日 時】平成28年5月19日(火) 10:00～12:00 【場 所】津山市役所東庁舎 生涯学習室 【出席者】観光振興課、文化課、歴史まちづくり推進室			

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
京橋門跡地整備事業		実施済 実施中 未着手	
事業期間	平成26年～28年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	京橋門跡地は、津山まつりにおける津山だんじりの巡行コースであり、津山城の外周遺構を確認できる唯一の場所でもあるため、隣接地を取得し、石垣を覆い隠す建物を撤去して整備を実施。		
定性的・定量的評価(自由記述) <small>定量的評価は可能な範囲で</small>			
周辺の道路から見えるように整備するため2件の隣接地を取得する取り組みを継続し、うち1件について取得した。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		土地取得に時間を要したため、事業期間を延長して取り組む。また、当初案から規模を縮小したうえでの整備を行う。	
状況を示す写真や資料等			
<p>京橋門跡地整備事業整備事業 【平成28年度実施状況】 地権者と交渉を行い、南側の隣接地については取得した。東側の隣接地については取得が困難であることから、当初の計画より規模を縮小して整備を行う。</p>			
			
【京橋門跡石垣周辺の様子(上空から)】			

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
旧妹尾銀行林田支店修理活用事業		実施済 実施中 未着手	
事業期間	平成24年～29年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	旧妹尾銀行林田支店は出雲街道沿いにある城東地区の核となる建造物であるため、老朽化した屋根の修理等を実施。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
旧妹尾銀行林田支店の活用・修理方針について庁内で検討を行った。関係部局担当者との協議を随時実施した。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>旧妹尾銀行林田支店修理活用事業 【平成28年度実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧妹尾銀行林田支店修理活用事業に関する協議(4回)</li> <li>【日 時】平成28年9月8日(月) 13:30～16:00</li> <li>【場 所】旧妹尾銀行林田支店</li> <li>【出席者】文化課3名、建築住宅課2名、地域創生推進室2名</li> <li>【日 時】平成28年9月28日(水) 10:00～11:00</li> <li>【場 所】旧妹尾銀行林田支店</li> <li>【出席者】生涯学習部長、調整官、文化課2名</li> <li>【日 時】平成28年10月14日(金) 13:45～14:00</li> <li>【場 所】津山市役所庁議室</li> <li>【出席者】市長など</li> <li>【日 時】平成29年1月16日(月) 9:30～10:00</li> <li>【場 所】津山市役所 5階</li> <li>【出席者】文化課1名、歴史まちづくり推進室2名</li> </ul> <p>・検討結果 旧妹尾銀行林田支店を文化財を活用した「アート&amp;デザイン賑わい拠点整備事業」として計画し、平成29年度に設計と改修工事を行い、平成30年秋のオープンを予定。</p> <p>「アート&amp;デザイン賑わい拠点整備事業」 市民やアーティスト・デザイナーなどの交流や楽しみが生まれる施設、滞在型観光の中核エリアとなる城東地区の東部のランドマーク施設として、観光誘客も視野に入れた施設とする。</p>			

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
津山だんじりの保存・継承事業		実施済 実施中 未着手	
事業期間	平成21～30年度		
支援事業名	文化遺産を活かした地域活性化事業		
計画に記載している内容	津山固有の歴史や伝統を反映した津山だんじりの修理を実施。津山だんじりの修理により、当時の製作技術・技法等を知る事ができるとともに、次世代への技術の伝承につながることが期待される。 また、津山まつりのメインになる出し物であるため、修理されただんじりの出動により、津山まつりがより活性化されることが期待される。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
津山だんじりの保存・継承事業により、平成28年度は、だんじり4台の修理を実施した。 平成28年度保存修理数:1台(平成21～27年度保存修理数:25台)			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>津山だんじりの保存修理事業 【平成28年度実施状況】 戸川町だんじり(群龍墓)、福渡町だんじり(龍輦墓)、中之町だんじり(勢龍楼)、西新町だんじり(龍宝墓)</p> <p>【平成28年度実施内容】 文化庁の「文化遺産を活かした地域活性化事業」により、平成28年度は戸川町、福渡町、中之町、西新町のだんじりの保存修理を実施。</p>			
			
【戸川町 龍輦墓(修理後)】		【福渡町 群龍墓(修理後)】	
			
【中之町 勢龍楼(修理後)】		【中之町 勢龍楼(修理後)】	
			
【西新町のだんじり 龍宝墓(修理後)】		【西新町だんじりお披露目会の様子】	

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
出雲街道(城東地区) 無電柱化事業		実施済 実施中 未着手	
事業期間	平成26年度～		
支援事業名			
計画に記載している内容	津山だんじりや伝統産業の舞台である出雲街道について、新洋学資料館関連地区以外の無電柱化を行い歴史上価値の高い町並保存地区の建造物と一体となった質の高い良好な市街地環境の整備を図り、歴史的風致を向上する。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
電柱撤去に関する技術的な検討を行った。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		無電柱化実施済みのエリア以外は街路が狭小で電線の埋設スペースを確保できず、現時点では電線地中化の実施は難しい状況である。引き続き配線技術や法整備の情報収集にあたり、状況に応じて計画内容の見直しを行う。	
状況を示す写真や資料等			
出雲街道(城東地区) 無電柱化事業 【平成28年度実施状況】 新しい配線技術や法整備に関する情報収集にあたり、事業実施に向けて技術的な検討を行った。今後の技術面及び法整備の状況に応じて計画地で実施可能な具体的手法を検討すると共に、必要に応じて計画内容の見直しを行う予定。			
			
【無電柱化実施検討エリア図】 <span style="float: right;">                     ■ 実施済                      ■ 無電柱化検討エリア                 </span>			

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
城東地区 道路空間高質化事業		実施済 実施中 未着手	
事業期間	平成21～23年度、平成26年度～		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	歴史上価値の高い町家や寺院群が保存され、伝統文化や伝統産業が残る城東地区において、出雲街道や、それと交差する城下町時代の名残を残す細街路の舗装高質化を進め、文化財建造物と一体となった城東地区の歴史的風致を維持向上する。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
実施なし。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している			
計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
城東地区 道路空間高質化事業 【平成28年度実施状況】 平成28年度は事業実施予定なし			

		評価対象年度	平成28年度
項目			現在の状況
文化財の調査・指定			実施済 実施中 未着手
計画に記載している内容	未指定文化財の調査を継続し、保存が必要と判断されるものについては新たに指定を行って保存・活用に努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) <small>定量的評価は可能な範囲で</small>			
文化財の調査:実施なし 文化財の指定:市指定文化財 なし 「旧苅田家住宅」が国指定重要文化財(建造物)に指定(H28.7.25)、「沼遺跡」が県指定史跡に指定(H29.3.7)			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している	計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等			
文化財の指定 【平成28年度市指定文化財】 なし			
			
【旧苅田家住宅】		【沼遺跡】	

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
文化財の保存修理・防災・周辺環境		実施済 実施中 未着手	
計画に記載している内容	文化財の修理は、損傷が進まない内に実施するように努め、適正な管理や見回り・啓発などの予防活動により防災に努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
文化財の保存修理: 城東重要伝統的建造物群保存地区修理、国指定史跡津山城跡保存整備事業(P4参照)、県指定津山だんじりの保存修理(P8参照) 文化財の防災対策: 鶴山八幡宮自動火災報知設備交換、文化財防火デー			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している 計画どおり進捗していない		文化財の保存修理については、復元方針、材料の確保、職人の確保が課題となっているため、これらの課題に関する対応について、継続して検討を行っていく。	
状況を示す写真や資料等			
<p>文化財の保存修理                      【城東伝統的建造物群保存地区修理状況】                      城東伝統的建造物群保存地区は平成25年8月に国の重要伝統的建造物群保存地区へ選定された。平成28年度は修理7件、修景1件を実施した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【修理前】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【修理後】</p> </div> </div> <p>【国指定史跡津山城跡保存整備事業】                      津山城跡は昭和38年に国の史跡に指定されており、以前からその保存整備に取り組んできている。平成28年度は裏鉄門周辺整備を行った。</p> <p>【津山だんじりの保存修理状況】                      津山だんじりは、唐破風造の屋根などに彫刻を施すなど、町内ごとに競って豪華なだんじりが作成され、そのうち28台が県指定文化財に指定されており、保存・活用が求められている。平成28年度は戸川町、福渡町、中之町、西新町のだんじりを修理した。</p> <p>文化財の防災対策                      【国指定重要文化財 鶴山八幡宮本殿 防災設備修理事業】                      概要: 自動火災報知設備受信機 P型1級 壁掛型 15回線 の設置(機器取替え)                      事業内容: 平成13年度に設置した自動火災報知設備受信機が、平成26年度の機器点検において経年劣化による内部基盤の蓄積回路不良が見つかったため、受信機を交換を行った。</p> <p>【文化財防火デー】                      ・重要文化財防火訓練                      日 時: 平成29年1月29日(日)午前9時～                      場 所: 津山市宮部上「正覚寺」                      想 定: 裏山の墓において、線香が枯葉に引火し延焼の恐れがあるとの想定                      実施内容: 津山市消防団による防火訓練</p> <p>・文化財の立入検査                      実施内容: 消防組合による文化財の消防設備の査察と指導。                      場 所: 中山神社、森本慶三記念館、高野神社、旧妹尾銀行林田支店、八出天満宮、田熊八幡神社</p> <div style="text-align: right;">  <p>【文化財の立入検査の様子】</p> </div>			

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
文化財の施設・普及啓発		実施済 実施中 未着手	
計画に記載している内容	文化財の保存、活用に関する普及啓発を推進するため、説明会・報告会等を開催。また、市内の伝統文化や工芸技術等の活動に重点を置いたデータベース化に取り組み、市民に知ってもらう機会を増やし、結果的に文化や技術の継承・育成につながるよう努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
文化財の普及啓発：美作考古学談話会、第35回文化財調査報告会、城西歴史講座			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画どおり進捗している	計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等			
<p>文化財の普及啓発</p> <p>・美作考古学談話会 主 催：美作考古学談話会 第1回 平成28年 6月11日(土)「たたら(日本古来の製鉄)」 第2回 平成28年 8月27日(土)「史跡津山城跡の発掘調査現地見学会」 第3回 平成28年10月 1日(土)「最近の土器研究について」 第4回 平成28年12月 4日(日)「高田地域の遺跡を歩く」 第5回 平成29年 1月28日(土)「2016年の考古学ニュース」</p> <p>・第35回文化財調査報告会 主 催：津山市育委員会 日 時：平成29年 3月11日(土) 13:30～16:00 場 所：津山市中央公民館 参加人数：約 名 概 要：研究報告「津山城下の関所と関貫」津山郷土博物館 館長 尾島 治 講演「高野神社木造獅子の修理」公益財団法人 美術院 修復部長 岩下 淳</p> <p>・城西歴史講座 主 催：城西公民館 日 時：平成28年 9月24日(土) 場 所：津山市城西公民館 第1回 5月28日(土)「『出雲街道 第5巻』小谷善守著の城西解説」 第2回 7月30日(土)「『出雲街道 第5巻』小谷善守著の城西解説」 第3回 9月24日(土)「慶長から続く祭りとだんじり」 第4回 11月26日(土)「取材から見える 城下町」 第5回 1月14日(土) グランドワーク「城西のお宝を見つけよう」</p>			
			
【文化財調査報告会の様子】			

		評価対象年度	平成28年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
津山城"堀"めぐり 市民団体初企画	H28.4.9	山陽新聞	
本源寺特別拝観	H28.7.1	津山朝日新聞	
第38回ごんごまつり	H28.8.8	津山朝日新聞	
ものづくり・匠の技の祭典2016 作州絣保存会が初参加	H28.8.20	津山朝日新聞	
津山城跡発掘調査 市教委が報告会	H28.8.28	山陽新聞	
大型観光企画の4～6月 鶴山公園最多109794人	H28.9.6	山陽新聞	
津山まつりとだんじり学ぶ歴史講座	H28.9.27	山陽新聞	
大正期の活況再現 城西まるごと博物館フェア	H28.10.3	山陽新聞	
津山まつり フィナーレ 高野神社と徳守神社	H28.10.24	津山朝日新聞	
物見神社花祭り	H28.10.26	山陽新聞	
新野まつり	H28.11.4	山陽新聞	
津山城東むかし町 市民ら2万8000人	H28.11.7	津山朝日新聞	
津山まなびの鉄道館オープン半年で5万人	H28.11.25	山陽新聞	
文化財防火デー	H29.1.31	山陽新聞	
番所や木像獅子修復語る 津山市文化財調査報告会 市民ら耳傾	H29.3.14	津山朝日新聞	
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
<p>津山市の歴史・文化遺産の保全や活用、良好な景観の創出に関する方針等を周知した結果、津山市の歴史的風致に関する関心を高めることが出来た。 また、さまざまな啓発活動等により、地域のまちづくり活動の活性化につながった。</p>			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画の進捗に影響あり 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			

		評価対象年度	平成28年度
項目			
まちづくりに関する取り組み・効果			
計画に記載している内容	城西地区では、歴史的な町並みや人々のくらしを一つの博物館ととらえる「城西まるごと博物館構想」を進めており、毎年、「津山・城西まるごと博物館フェア」を開催。 城東地区では、町並みや伝統的な産業・文化を守り伝えようと13町内会が「出雲街道津山城東むかし町」を開催。		
定性的・定量的評価(自由記述) <span style="float:right">定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付</span>			
歴史的景観が多く残されている城西地区、城東地区を中心に、歴史遺産の掘り起こしや再発見に取り組む活動が行われた。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
計画の進捗に影響あり		地域のまちづくり活動の支援を効果的に行うべく、協議会等との連携強化や情報共有の推進に努める。	
計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			
(城西地区) 地元住民を中心とした各種イベントを実施し、城西地区の歴史的魅力的の再発掘に努めている。 また、旧中島病院本館をまちづくり拠点として活用し、まちづくり活動の推進に努めている。 津山・城西まるごと博物館フェア 【事業内容】 古い町並みが残る城西地区を博物館に見立て、手仕事で賑わった大正時代の町並みや暮らしを紹介するイベントを実施。このイベントにより、地域の再発見や交流を図る。平成28年度は21回目の開催で、約2万人の来場者で賑わった。 【実施主体】 津山・城西まるごと博物館フェア実行委員会  野菜と魚の市 【事業内容】 登録有形文化財である作州民芸館を活用し、月に一度、野菜と魚の市をオープン。地域の文化財の活用を推進するとともに、地元住民の交流を図る。 【実施主体】 つやま城西ほりおこし隊  作州絣織り人養成講座 【事業内容】 岡山県郷土伝統的工芸品「作州絣」の復興を目的に織り人養成講座を開講。 【実施主体】 作州絣保存会  旧中島病院本館(城西浪漫館)指定管理業務(平成21年度～) 【事業内容】 歴史的洋風建造物をまちづくり拠点施設として活用し、喫茶、展示ギャラリーなどの事業によって歴史的遺産を有効に活用したまちづくり活動を推進する 【利用状況】 平成27年度 来館者数 12,558人 喫茶利用者数 5,272人 平成28年度 来館者数 12,633人 喫茶利用者数 4,664人  城西歴史講座 【事業内容】 市民を対象に、城西地域の歴史について解説する歴史講座(全5回)を開催。(P13参照) 【実施主体】 津山市城西公民館			
(城東地区) 地域住民が中心になってまちづくりイベントを行い、出雲街道を中心とする歴史遺産の発掘、魅力の創出に努めている。 出雲街道津山城東むかし町 【事業内容】 城東地区の出雲街道1.2kmを歩行者天国とし、昔の町人文化を表現するため、住民による江戸期風衣装や昔風イベントを実施。このイベントにより、町のすばらしさ、町並みのすばらしさを再認識し、活力ある町の創出を図る。平成28年度は27回目の開催で、約2万5千人の来場者で賑わった。 【実施主体】 津山城東むかし町実行委員会			

(その他・重点区域内)

津山を歩けば

【事業内容】 市民団体により、着物のまち歩きや今昔写真展を中心とした津山城下町の歴史と魅力を発信していくための活動が行われている。

【実施主体】 津山を歩けばの会

【実施状況】 第3回 平成28年4月2日(土)・3日(日)

第4回 平成28年7月23日(土)

第5回 平成28年10月15日(土)～23日(日)

(まちづくりの効果)

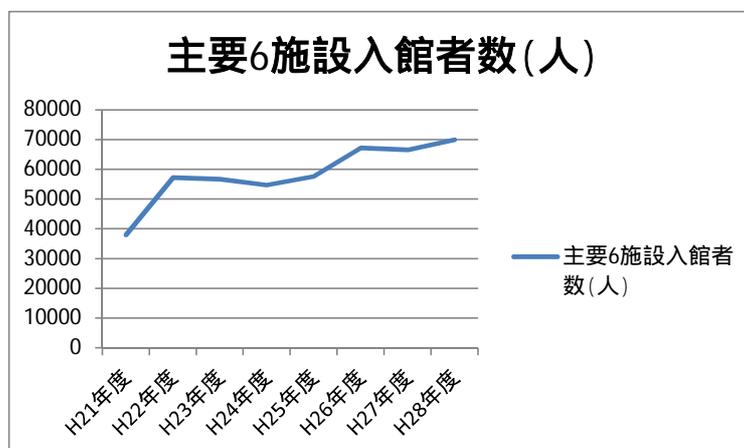
主要6施設入館者数の推移

平成21年7月に津山市歴史的風致維持向上計画の認定を受け、城東地区及び城西地区の道路空間高質化事業や地図情報板設置事業をはじめとした各種事業を行い、翌年度には施設入館者数が大幅に増加した。平成23年度、平成24年度は微減したが、平成25年度からは再び増加傾向にある。平成25年8月に城東地区が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、全国的に知名度が向上したことも要因の一つである。

平成28年度の状況について追記

6施設・・・城東地区：作州城東屋敷、箕作阮甫旧宅、城東むかし町家、津山洋学資料館

城西地区：作州民芸館、城西浪漫館



伝統的建造物の修理・修景実施件数

城東伝統的建造物群保存地区は平成25年8月に国の重要伝統的建造物群保存地区へ選定され、平成26年度より重要伝統的建造物群の制度に基づいて修理及び修景事業を実施している。

年度	H26	H27	H28	延べ件数
修理	4件	7件	7件	18件
集計	1件	1件	1件	3件

【伝統的建造物群保存地区内における修理・修景の実施件数】

法定協議会等におけるコメント

(様式4)

評価対象年度 | 平成28年度

法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称:津山市歴史的風致維持向上計画協議会

会議等の開催日時:平成29年3月6日

(コメントの概要)

出雲街道(城東地区)無電柱化事業については実現困難だと聞いたことがあるが、見通しはどうか。

(今後の対応方針)

城東地区は既設配管や敷地形状等の関係から、無電柱化の早期実施は容易ではない。ただし市として無電柱化事業を推進する方向に変わりはなく、法改正や新手法の開発などもあり、引き続き情報収集及び技術的検討を行う。